士ノ「琉球植物誌」[1]、牧野・根本氏ノ「日本植物總覽 (794 頁)」、本田・向坂氏ノ「大綱日本植物分類學 (310 頁 201 圖)」等ニ同定シタ如ク *Sonneratia alba* デアル。因ニ大山氏ニヨルト「本種ノ生育スル處ハ俗ニ「あかや潟原」ト云ヒ、ソノ海岸線ハ蜒々タルひるぎト混生林ヲナシ之レニ接シテ村人ノ田圃ガアル。古老ノ言ニヨルト往時ハ常ニ潮水浸入シ稻作ニ惱ンダト云フガ、コノ混生林ハ全然人工林トハ考ヘラレズ、自生セルモノニ多少ノ人工ヲ加ヘタモノデアラウト云フ。樹高ハ 3m 內外ノモノガ多イ。」氣溫ノ低キ結果デアラウ。

(金 平 亮 三 R. KANEHIRA)

○擔子地衣けつとごけトふらんねるごけノ產地

最近筆者ノ許ニ三重縣ノ孫福氏カラ實ニ立派ナ地衣類ノ標本ガ多數送附サレタノデ同地方ノ地衣植物相ヲ明ニスルコトガ出來タガ、ソノ中ニ珍品けっとごけヲ發見シテ驚喜シタ。

ソモソモけっとごけ (*Dictyonema sericeum* BERK.) ハ日本ニ產スル擔子地衣ノ代表者トシテ本誌第三卷第七號ノ「蕾軒獨語 (其六)」デ朝比奈博士ガ說明サレタ樣ニ、旣ニ明治ノ末頃ニ三好博士ニヨツテ土佐デ發見サレ、ソノ外觀ガ毛布ニ似テヰルタメニけっとごけ (毛布苔) ト云フ和名ガ安田學士ニヨツテ與ヘラレタモノデアル。けっとごけハ典型的ナ熱帶系ノ地衣デ、我ガ國デハ本州中部以南ニ分布シテヰルガ、ソノ產地ハ文獻上デハ極ク少數シカ知ラレテヰナイカラ、今回ノ孫福氏ノ採集ヲ機會ニ朝比奈博士及ビ東京帝大理學部植物學教室ノ腊葉室ニアル標本ニヨツテ產地ト採集者トヲ記錄シテ置カウ。

〔臺灣〕 臺北州：烏來 (緒方正資)。

〔九州〕 鹿兒島縣：熊毛郡屋久島尾之間 (藤川福二郎；1938, 7, 29)、同島永田川 (藤川福二郎：1938, 7, 31)。

〔四國〕 高知縣：高岡郡佐川町 (牧野富太郎？)、同郡越知町楠神 (吉永虎馬；1930, 8, 7)、同郡横倉山 (小林義雄；1938, 2, 8)、幡多郡大濱 (藤川福二郎；1931, 8, 25)。

〔本州〕 廣島縣：佐伯郡嚴島 (山本篤；1927, 5, 25)。和歌山縣：東牟婁郡那智山 (安田篤；1915, 8, 13)、同上 (緒方正資；1927, 3, 20)、西牟婁郡生馬村 (宇井縫藏；1925, 1)、西牟婁郡秋津川 (朝比奈泰彥；1925, 4, 9)。三重縣：度會郡柏崎村行者山 (孫福正；1934, 11, 8)。志摩郡青峯山 (孫福正；1938, 2, 13)。靜岡縣：周智郡秋葉山 (朝比奈泰彥；1926, 7, 16)。

未發表デハアルガ、我ガ國ニハモウ1種ノ擔子地衣ふらんねるごけ (*Dictyonema* sp. 朝比奈博士命名) ガアル。けっとごけト比較スルト地衣體ハ發育ガ惡クけっとごけノ樣ニ圓盤狀ノ塊ヲ作ラズニ扁平ニ擴ガリ、毛布ノヨウニ毛バタツコトガ少イ。又藻細胞モ前者デハ太イ細胞ガ1列ニ念珠狀ニ連ルガ、後者デハ2列ニ並ンデヰル。

ふらんねるごけノ產地ハ次ノ通リデ、けっとごけヨリハ北ノ方マデ分布シテヰル。

〔九州〕 鹿兒島縣：揖宿郡開聞岳 (藤川福二郎；1933, 7, 21)、同郡指宿 (朝比奈泰彥；1938, 1, 1)、熊毛郡屋久島小杉谷 (藤川福二郎；1933, 7, 23)。

1) Tent. Fl. Lutch. (1900) p. 229.

〔四國〕 愛媛縣周桑郡石鎚山（藤川福二郎；1933, 8, 26）。高知縣：幡多郡竹屋敷（藤川福二郎；1935, 8, 13）。

〔本州〕 靜岡縣：周智郡秋葉山（朝比奈泰彥；1926, 7, 16）、田方郡天城山（朝比奈泰彥；1927, 8. 24 及ビ 1930, 8, 25）、駿東郡御殿場（朝比奈泰彥；1929, 8, 1）同須走口（朝比奈泰彥；1932, 4, 7）、富士郡大宮口二合目（朝比奈泰彥；1925, 7, 6）、田方郡三島町蘆澤山（朝比奈泰彥；1926, 8, 21）。神奈川縣：中郡大山（緒方正資；1925, 11, 20）。千葉縣：長生郡八積（藤川福二郎；1931, 12, 26）。

我ガ南洋委任統治諸島ニハ更ニ1種 *Dictyonema irpicinum* MONT. ガ產スルコトガ小林義雄氏ガポナペ島デ採集（1936, 8, 30）サレタ標本デ知ルコトガ出來タ。

（佐藤正已）

○南鳥島產ノ植物 (Plants of Marcus Island).

同名ノ標題ノ下ニ矢部吉禎教授ハ植物學雜誌十六卷 258 頁ニ「南鳥島ハ北緯 24° 17′ 2″ 東經 154° 1′ ニ位シ、小笠原ヲ距ルコト 628 哩、全島殆ド三角形ヲナシ、周圍僅カニ 3 哩、海面上ノ最高點僅ニ 60 呎、珊瑚ノ破片ヨリ成リ、其ノ植物ハ非常ニ少シト。今夏米國ト事アリ、軍艦高千穗ヲ派遣セラル、神保教授之ニ搭ジテ該島地質探究ノ際下記數種ノ標品ヲ携ヘ歸ラレ松村教授ノ許ニ寄セラレテ曰ク該島植物ハ殆ド此數種ニ止マレリト。大概熱帶地方普通ノ品種ニテ該島特產ノ物之ナシ」ノ記事ニ續イテ植物ノ目錄ガ擧ゲテアル。

今回、小生ハ圖ラズモ母島沖村ノ人、奧山丈一氏ノ同島ニテ採集セル貴重ナル標本ヲ小笠原營林署長町田勇作氏ノ御好意ニヨリ入手シ得タ。ヨツテ研究ノ結果ヲ矢部氏ノ目錄ト合シテ表記スレバ、次ノ如クナル。(* 印ハ矢部氏ノ既ニ報告セルモノ)

*1. **Scaevola frutescens** KRAUSE in ENGLER Efl.-Reich **54**, p. 125 (1912). てりばくさとべら
*2. **Morinda citrifolia** LINNÆUS, Sp. Pl. ed. 1, p. 176 (1755). やへやまあをき
*3. **Messerschmidia argentea** JOHNSTON in Journ. Arn. Arb. **16**, p 164 (1935). もんぱのき
4. **Malvastrum tricuspidatum** A. GRAY, Pl. WRIGHT. **1**, p. 16 (1852). えのきあふひ
*5. **Portulaca oleracea** LINNÆUS, Sp. Pl. ed. 1, p. 445 (1753). すべりひゆ
*6. **Boerhaavia repens** LINNÆUS, Sp. Pl. ed. 1, p. 3 (1753). なはかのこさう
7. **Pisonia grandis** R. BROWN, Pro l. Fl. Nov. Holl. p. 422 (1810). とげみうどのき
*8. **Cocos nucifera** LINNÆUS, Sp. Pl. ed. 1, p. 1181 (1753). ここやし
9. **Dactyloctenium aegyptium** RICHTER, Pl. Eur. **1**, p. 68 (1889). りゅうのつめびえ
10. **Lepturus repens** R. BROWN, Prod. Fl. Nov. Holl. p. 107 (1810). はひしば